

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価 (就職先の評価、卒業生評価)
小項目	6.4.2 学位授与 (卒業・修了判定) は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策 (院) (専門)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告 (2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 進路も含めた修了生を追跡調査する手法を策定し、実施する。	→追跡調査の実施 (2013年度までに)	D	C	C	B	/
2. 学位授与基準、修了認定基準に則った手続きが行われているか検証する体制を整備する。	→審査委員会の報告に対する研究科委員会による手続きの検証実施 (2013年度より)	D	C	C	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教育成果の測定についてはまだ模索中であるが、毎年度の修了生については進路状況調査を実施し、進路先を把握している。また、伝道者 (特に日本基督教団教職など) は継続して奉職先 (勤務先) の情報を追っている。2012年度の前期課程修了者の進路状況は次のとおりである。2012年度修了者9名 (伝道者5名、信徒伝道1名、進学1名 [本研究科後期課程]) なお、専任教員が、新任伝道者の就任式や神学講座などの機会に全国各地の教会へ派遣され、修了生の働きについて関係者にヒアリングを行うなどして教育成果について一定の確認を行っている。
目標2	「学位 (修士・博士) 論文」審査基準が明確化され、2013年度から部内で公開・試行されている。それを受けて「学位取得までのプロセス」改訂への再整備も開始する予定である [カリキュラム委員会 (研究科) を中心に]。
備考	